進捗報告書　（実行団体）

Version 1.0
2021 年 4 月 13 日

事業名:	農園を活用した子ども・若者支援事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド
実行団体名:	特定非営利活動法人子どもと生活文化協会
実施時期:	2020 年 11 月～2021 年 9 月
事業対象地域:	神奈川県
事業対象者:	不登校・ひきこもりで家から出て来ることができるようになった子どもと若者とその家族。新型コロナウイルス感染予防のために社会参加の機会を失くした子育て世代家族、オンライン授業が続いたため進路に悩んでいる学生

Ⅰ．事業概要

事業概要
突然の休校により学校からの教材配布やオンライン授業の準備もないまま、コロナ感染予防のために家にとじ込まされ、孤立しストレスを溜めることになってしまいました。この問題を解決する一つが密にならない野外での農作業です。しかし、多くが農業未経験者の為、作業手順や耕すなどの力仕事のサポートが必要になります。 そこで農業指導や生活相談など、現場をサポートする有資格者を配置した当事業を展開することで孤立しがちな子どもや家族と社会的自立を目指そうとしている若者や進路決定に悩む学生たちが、草刈りや耕耘などを協力しながら生産機能のある農園活動を通して互いにつながり合うことで社会課題の解決に貢献できます。

Ⅱ．進捗報告の概要

総括
活動実施を昼食取らない時間に変更するなど、コロナ禍で感染拡大に気を付けながら、農園を活用した野外での活動のため、中止にすることなく実施。また、天気に恵まれ、雨天での中止もなく実施。 参加する若者や農園利用者の家族も回を進めるごとに増え、メンバーの多少の入れ替わりはあるものの、安定した参加者での実施が可能になっている。何度か顔を会わることで、コミュニケーションが取れるようになり、家族とは違ったかかわりができる場所になっている。また、同じ作業を何度か繰り返すことで、出来ることが増え、自信に繋がっている。参加する若者の中から、就職に進路が決まり、職場見学や体験に行くことができている。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態 ）	進捗状況
社会的な自立が困難な子ども・若者の特徴はコミュニケーション不足に加え、体力不足、毎日決まったことを継続することができないこと等。本事業で様々な年代の人たちが多様性を共有しながら生産活動を実施することでこれらの改善が図れる。	週一回の活動に参加することができなかった若者が、月に一回もしくは二回参加することが出来るようになってきている。 家族とは違う、異年齢の方たちと力を合わせて、生産活動をすることで、達成感を感じることが出来ているようだ。

活動	進捗状況	概要
①チラシを作成し、休校を機会に農園利用を開始した家族に登録を促す。また、近隣の関係団体や公共機関等にチラシを配布する。	１２月にチラシ作成 配布済	近隣公共機関等１０箇所に配布 法人会員に配布
②本事業は登録制とし、参加者同意のもと登録書を作成する。	参加者、登録用紙記入	３月３１日現在の登録者数、９１人
③農園での活動は平日は週１～２回程度。土日祝日は月に４回程度。活動参加は事前申し込み制とする。	１１月～３月、月４回実施	11/7,14,21,28、12/5,19,26,27、1/9,11,23,30 2/7,13,20,28、3/6,14,20,28
④活動日には農業指導者による助言や技術指導や現場担当スタッフやサポーター（本事業の主旨に賛同し、支援に協力するボランティア）のサポートを受けながら、農園の種まき・苗植え付け・耕し・収穫などの農作業を進める。	天候にも恵まれて、農作業を実施できている。	じゃがいも・里芋の植え付け のらぼう菜の収穫など
⑤作業等を通して、農園利用者または登録者の幼児･小中学生、社会人、社会的自立を目指している不登校や若者たちが共に汗を流すことで交流が生まれる。また、当事業に、継続参加を目指すことで、体力の向上やコミュニケーション能力の改善を図る。	農作業を通じて交流が生まれている。	農作業をペアを組んで実施することで、コミュニケーションを取る練習になり、様々な年代の参加者の中で、安心して参加できる環境ができている。
⑥本事業に週１～２日間携わる担当スタッフは、基本的に農園	活動が円滑に展開するよう、サポートできている。	事務所で個人情報や書類を管理することで、担当者同士の情報のやり取りなどスム

を仕事場とするため、本事業に関する事務所への電話やメール等の応対や事業間の中継ぎ、守秘義務を要する登録者の名簿や振り返り用紙の管理、労務管理を伴う会計、更には資金分配団体との連絡等は事務所常勤スタッフが対応することで、活動が滞りなく円滑に展開できるようにする。		ーズに進んでいる。

Ⅳ. 事業実施後（1 年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
農園を活用することで、多くの参加者の手によって整備も進み、気持ちのいい空間に変化している。 若者たちが自分たちの手で、変化をしていく様子や毎週の活動で得られる達成感は相乗効果となっている。 進路が決まり、仕事に就いたり、学業に励んだ時に体を動かしリフレッシュする場として、気軽に参加できるように、活動を継続することを強く感じている。

Ⅴ．インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥983,500	¥941,500	¥1,925,000	¥983,500	51%
	管理的経費	¥127,500	¥147,000	¥274,500	¥127,500	46%
合計		¥1,111,000	¥1,088,500	¥2,199,500	¥1,111,000	50%

補足説明	特になし

Ⅵ. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
顕著化したリスク 　コロナウイルス感染予防対策の影響で、活動に参加するための移動手段が公共交通機関を利用する以外になく、やむなく活動参加を控える登録者あり。 阻害要因とその対応 　コロナウイルス感染予防対策の観点から、会食に人数制限があるため、昼食を一緒にすることを中止せざるを得なく、コミュニケーションの大事な場を失っている。 　その対策のひとつとして、作業をしながらの声掛けなど、スタッフが気配りを徹している。

Ⅶ. その他

自由記述
特になし

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	チラシ作成
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.　内部通報制度は整備されていますか。	はい	